

経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県土岐市 土岐市立総合病院・駄知診療所

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	ド透I未訓	救臨輸
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
59,026	23,807	非該当	7:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

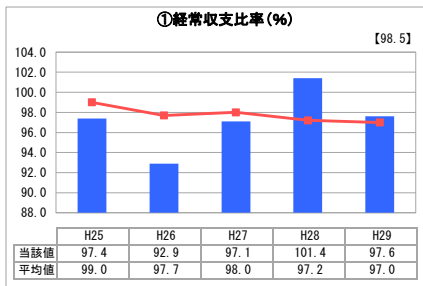
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
350	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	350
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
227	-	227

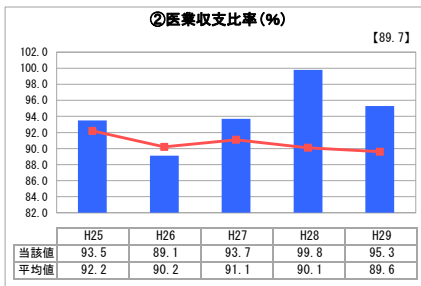
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

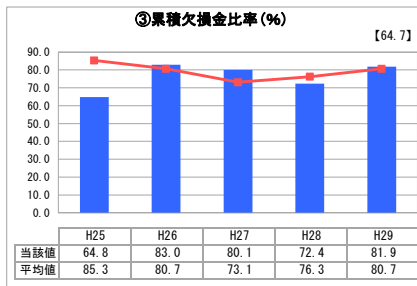
1. 経営の健全性・効率性



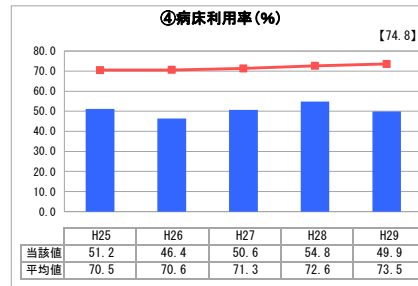
「経常損益」



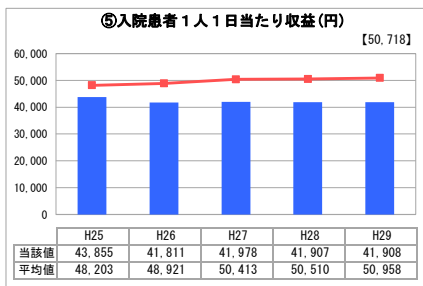
「医業損益」



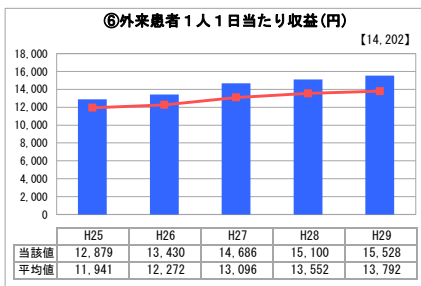
「累積欠損」



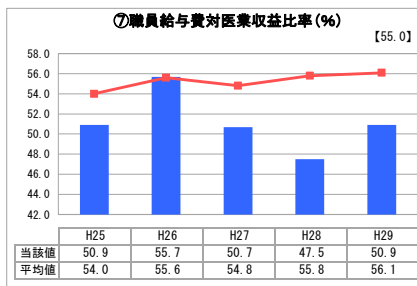
「施設の効率性」



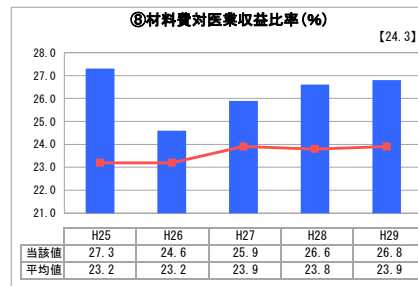
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

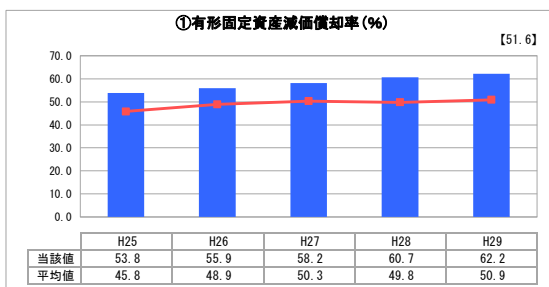


「費用の効率性①」

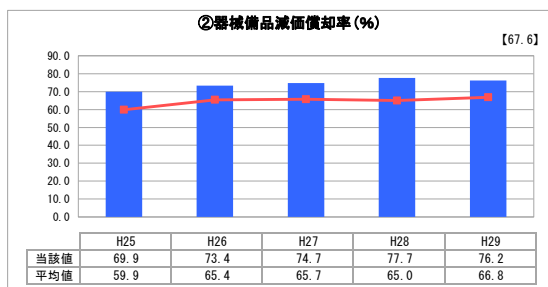


「費用の効率性②」

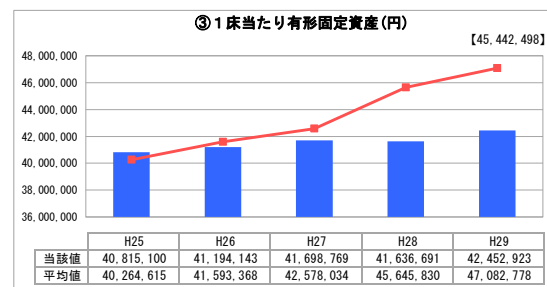
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

土岐市病院事業は土岐市立総合病院、土岐市老人保健施設やすらぎ及び土岐市国民健康保険駄知診療所で構成されている。その中心となる土岐市立総合病院は、土岐市及び瑞浪市の二次救急医療圏の基幹病院として地域の急性期医療、救急医療を担うとともに、回復期医療にも対応するなど、地域の方々に必要とされる医療を提供することを目的としている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

前年度に比べ、入院・外来ともに患者数が大きく減少した。特に入院患者数は、④病床利用率が示すとおり前年度を4.9%下回り、全国及び類似病院平均と大きくかき離れている。患者数減少に伴い減収となったため、①経常収支比率、②医業収支比率とも前年を大きく下回った。

また、⑥外来患者1人1日当たり収益は前年度に比べ増額したものの、⑤入院患者1人1日当たり収益は、全国並びに類似病院平均と大きくかき離れている。

一方、費用では、全体として減少したが給与費は微増した。減収と相まって⑦職員給与費対医業収益比率は増加した。

2. 老朽化の状況について

今年度は、導入後7年が経過した電子カルテシステムの更改及び耐用年数が経過し使用不能となった機器や部品供給が終了が見込まれる機器等の更新を行った。また、老朽化に伴い建物の防水改修工事を行った。

開院後約30年を経過し老朽化が進んでいる。①有形固定資産減価償却率及び②器械備品減価償却率が示すように全国並びに類似病院平均を大きく上回っている。

また、③1床当たり有形固定資産は前年度に比べ大きく伸びているものの、全国並びに類似病院平均に比べ、伸び幅は小さい。

全体総括

患者数の減少により厳しい経営状況であったうえに今年度末には医師の大量離職があり、次年度はさらに減収が見込まれる。一方で費用面においては薬品費を中心とした材料費の削減を進め、収益増と経費削減を図る経営改善に取り組み必要がある。

一方で老朽化した施設や資産等の更新に応じていかなければならず、限られた予算の中で診療業務に支障を来さぬよう、引き続き計画的に施設・設備の更新を行う必要がある。

引き続き、経営基盤の安定化を図り、地域に必要とされる医療を提供する体制づくりを目指す。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。